



平成31年1月25日
環境局環境国際戦略課

カンボジア王国・プノンペン都にて、廃棄物管理改善事業をスタートします！！ “「オール北九州」で姉妹都市プノンペンの廃棄物処理を支援”

- 本事業は、JICA 草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）を活用した、プノンペン都での廃棄物管理改善事業です。
- （公財）北九州国際技術協力協会、（公財）北九州市環境整備協会、ひびき灘開発（株）などの市内関連団体でチームを結成し「オール北九州」体制で、2019年1月からプノンペン都の廃棄物処理に関する支援をスタートします。

1 背景

北九州市と姉妹都市であるプノンペン都は人口180万人を擁するカンボジアの首都で同国最大の都市です。人口増加率も依然高い水準にあり、2030年には240万人に達すると試算されています。このような人口増加及び毎年7%前後の高い経済成長に伴い、プノンペン都の廃棄物発生量は近年急増しており、都の抱える大きな課題の一つとなっています。

2 事業内容

①プノンペン都内最終処分場の適正管理

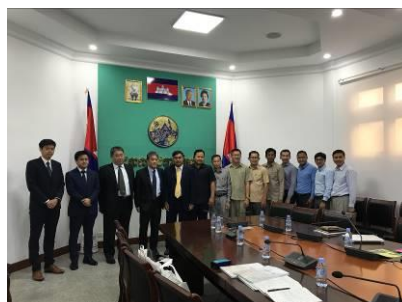
- ・最終処分場における課題（地下水汚染、埋立ゴミの状態管理、火災等）の調査
- ・適正管理のためのガイドライン作成 ・浸出水池の浄化装置取り付け

②モデル地区における環境学習・住民啓発

- ・現地小学校の教員や小学生を対象とした環境学習の実施
- ・住民を対象とした不法投棄防止のルール策定、啓発イベントの実施



現地政府との協議



現地政府との協議



現地最終処分場



住民啓発イベント（イメージ）



住民啓発イベント（イメージ）



現地小学校での環境学習（イメージ）

- 3 事業期間 3年間（2019年1月～2021年12月）
※2019年1月28日から第一回目の渡航を予定
- 4 事業費 約6,000万円
※「JICA 草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）」による委託費
※実施機関の北九州国際技術協力協会（KITA）が JICA と契約
- 5 実施体制 日 本 国：北九州市環境局、北九州市教育委員会、
（公財）北九州国際技術協力協会、（公財）北九州市環境整備協会、
ひびき灘開発（株）、（株）エックス都市研究所
カンボジア国：プノンペン都廃棄物管理局 等

JICA 草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）について

JICA 草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）は地方自治体が主体となり、地域企業等の有する技術・経験を活用して、開発途上地域に貢献することを支援すると共に、開発途上国の様々な需要・ニーズを日本各地のリソースと積極的に結びつけ、国際化を支援することによって、地域の活性化を促進することを目的としています。

（JICA ホームページ <https://www.jica.go.jp/partner/kusanone/what/chiikikeizai.html>）

【お問い合わせ先】

北九州市環境局環境国際戦略課アジア低炭素化センター（TEL:093-662-4020）

課長:櫛山、係長:加藤